



こいけ動物病院長
(高岡市出来田)

小池 仁彦

皆さんは「多飲多尿」という言葉を聞いたことがありますか。例えば、動物病院に行った際に獣医師から「お水はよく飲みますか?」「オシッコの回数は多いですか?」などと質問されたことはないでしょうか。この質問は、多飲多尿という症状があるかどうかを知るために聞いているのだと考えられます。なぜこのような質問をするのか、それはそこに病気が隠れているかもしれないからです。

多飲多尿とは、読んで字のごとく「たくさん水を飲み、たくさんオシッコをする」という意味です。

多飲多尿



水を飲むネコ

このような症状を示す代表的な病気として、糖尿病や腎臓病が挙げられます。この二つの病気に共通して注意すべきポイントは、多飲多尿が開始する際には、元気がなくなったり、食欲が低下したりといった様子が見られないこともある、という点です。ですから「う

病気が隠れているかも

この子最近よくお水を飲むのが気になるけど、元気だしごはんもよく食べているから、大丈夫かな」などと様子を見てしまうと、食欲が落ちた時にはかなり病気が進んでいるというケースも少なくありません。元気がうに見えても多飲多尿が疑われる場合には、様子を見ずに病院で診てもらいましょう。

多飲多尿を示す病気の中からもう一つ、子宮蓄膿症を挙げさせていただきます。これは主に、高齢で避妊手術を受けていない雌イヌで起こる病気ですが、時にネコでも起こります。この病気を挙げた理由は、同じ多飲多尿でも先に挙げた病気と違い緊急性が高いからです。

「水はよく飲むけど、今日はあま

り食欲がないな。でもおやつは食べているし、しばらくすればまた食べ出すかな」と、何日も様子を見てしまうと、命に関わる事態になります。発見が早く、手術などの適切な治療を受ければ助かる可能性は十分にあります。この病気が疑われる時には直ちに病院へ行きましょう。また、若いうちに避妊手術を受けることが予防につながりますので、手術を受けるべきか動物病院に相談してみましょう。

ほかにも多飲多尿を示す病気はありますので、「うちのネコはよく水を飲むから腎臓病!」と決めつけずに、病院行って適切な診断および治療を受けましょう。

毎月第一土曜掲載